



広島ガス株式会社

2016年5月17日

1. 2015年度決算実績
2. 経営ビジョンと中期経営計画
3. 2016年度業績見通し
4. 株主還元方針
5. 成長戦略

1. 2015年度 決算実績

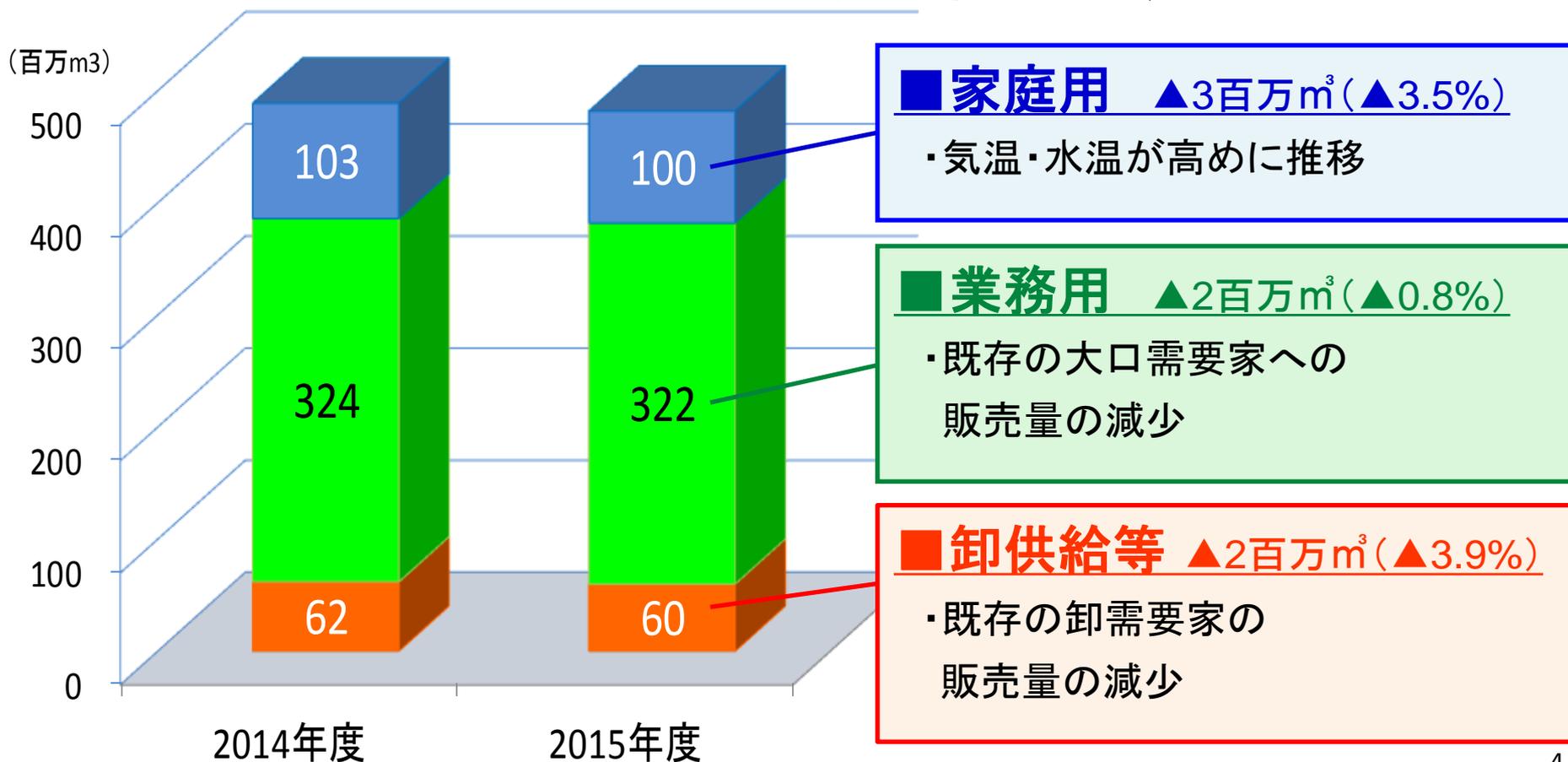


- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 2015年度 決算実績
- (3) セグメント別 決算実績
- (4) 財政状況

(1) 都市ガス販売量実績



2015年度 ガス販売量 **483百万m³**
(▲8百万m³、▲1.8%)



(2) 2015年度 決算実績



(単位:百万円)

	2014年度	2015年度	増減	率(%)
売上高	88,851	76,303	▲12,548	▲14.1
売上総利益	28,185	30,107	1,922	6.8
営業利益	4,111	5,475	1,364	33.2
経常利益	4,699	5,775	1,075	22.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,746	3,647	901	32.8
ROE(%)	7.9	9.4	1.5	-
原油価格 ICP/JCC (\$/bbl)	87	49	▲38	-
為替レート(円/\$)	109	120	11	-

(注1) 2015年度より、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

(注2) 2015年度より、従来のICPからJCC(=Japan Crude Cocktail、全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格)へ変更



経常利益 +1,075百万円 の増益

(4,699百万円 ⇒ 5,775百万円)

「+」「△」は利益に対する影響額を示す

1. ガス事業 数量差 ▲743百万円
2. スライド差 +2,400百万円
 - ・スライドタイムラグ (前期)200百万円 (当期)2,600百万円
3. 将来負担軽減のための諸費用 ▲790百万円
 - ・引当金(経年管対策、器具メンテ保証)
4. LPG事業の増益 +250百万円
5. その他 ▲50百万円

(参考) 廿日市工場棧橋関連 償却開始 ▲400百万円

(3) セグメント別 決算実績



(単位:百万円)

		ガス事業	LPG事業	その他	調整額	連結
売上高	2015年度	61,802	13,810	3,721	▲3,031	76,303
	2014年度	71,544	16,338	3,916	▲2,947	88,851
	増減率(%)	▲9,742 ▲13.6%	▲2,527 ▲15.5%	▲195 ▲5.0%	—	▲12,548 ▲14.1%
セグメント利益	2015年度	4,341	609	▲72	597	5,475
	2014年度	3,562	349	13	186	4,111
	増減率(%)	778 21.9%	259 74.4%	▲85 —	—	1,364 33.2%
セグメント売上高利益率	2015年度	7.0%	4.4%	—	—	7.2%
	2014年度	5.0%	2.1%	0.3%	—	4.6%

(4) 財政状況



(単位:百万円)

	2015年3月末	2016年3月末	増減
総資産	99,759	102,357	2,598
負債	60,522	60,366	▲155
純資産	39,237	41,991	2,754
自己資本比率(%)	37.4	39.0	1.6pt

(単位:百万円)

	2014年度	2015年度	増減
営業CF	10,164	13,950	3,785
投資CF	▲10,030	▲9,735	295
財務CF	▲1,779	▲1,788	▲8
設備投資額	9,667	9,851	184
減価償却費	6,925	7,091	166

2. 経営ビジョンと中期経営計画



(1) 2020年ビジョン

(2) 中期経営計画

(1)① 2020年ビジョン



【策定】

平成21年10月 **2020年ビジョン「Action for Dream 2020」**策定

【方向性】

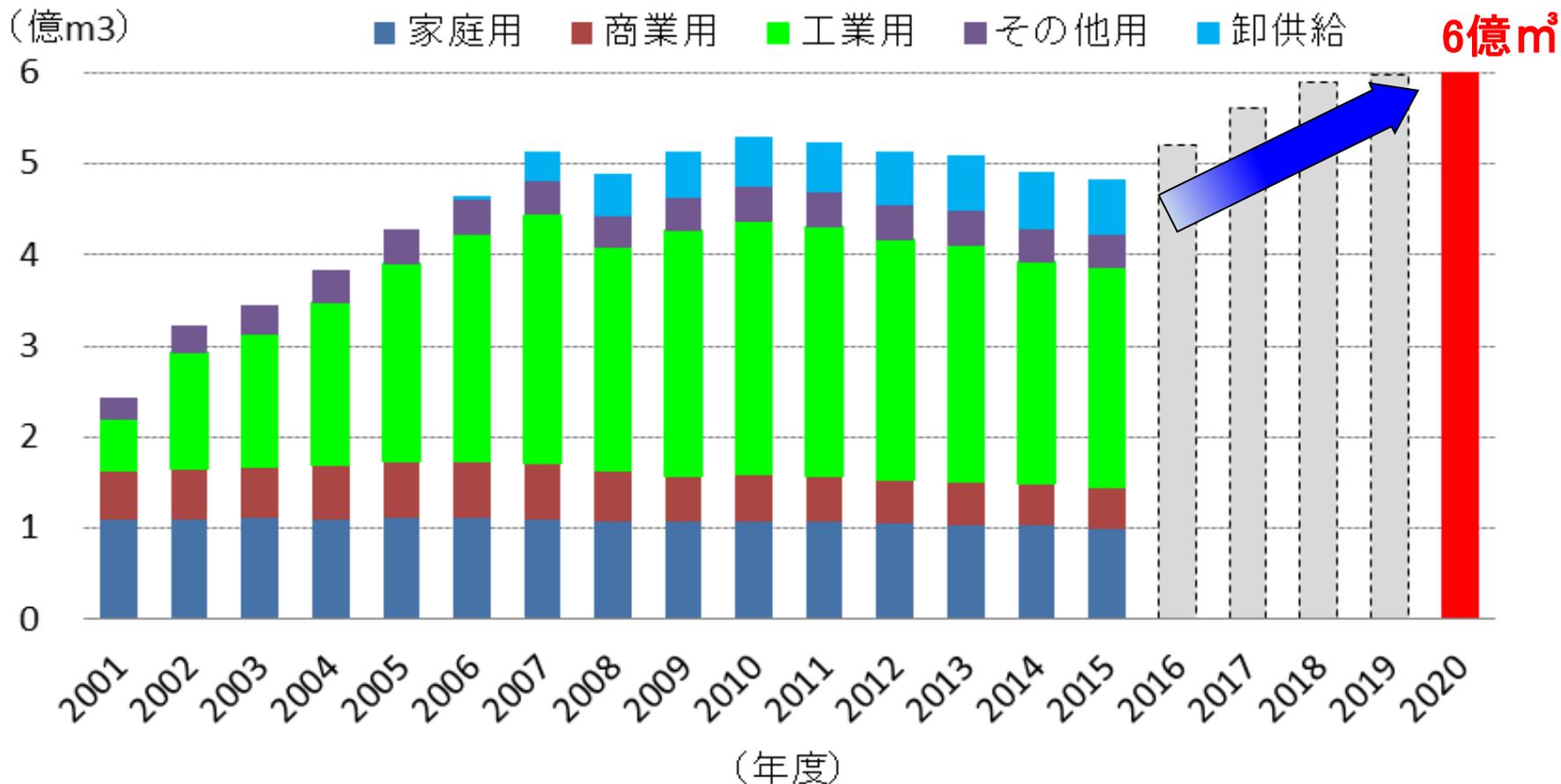
キーワード	方向性	具体的内容	
原点 回帰	エネルギー供給事業への回帰	広く	ガス体エネルギーの普及拡大 多様なエネルギーの提供 低炭素社会への貢献
	お客さま視点でのサービスのあり方への回帰	深く	エネルギーの高度利用 お客さまとの密なコミュニケーション お客さまが望まれるサービスの提供
	公正かつ透明で風通しのよい組織への回帰	温かく	人材を育む 環境を育む お客さま・地域との関係を育む

経営理念 : **地域社会から信頼される会社をめざす**

(1)② ビジョンの目標



- ①更なる天然ガスの普及拡大を図り、販売量**6億m³**を目指す。
- ②更なる経営の効率化と収益力の向上を図る。



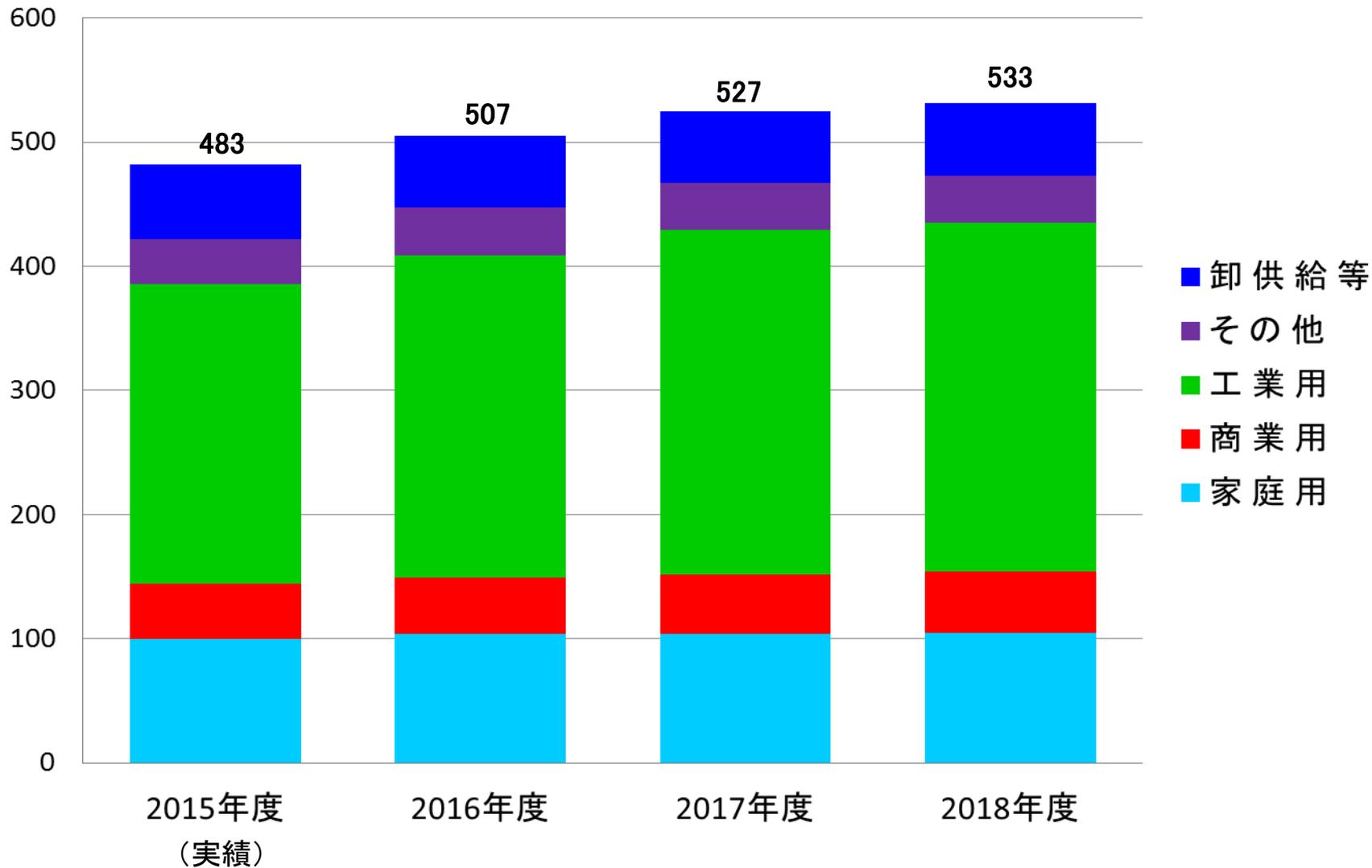
基本方針

- ① エネルギー市場の自由化後においても、当社グループは引き続き、広島県を中心にガス体エネルギー供給を基軸とした事業を展開していく。
 - ・ガス体エネルギーの普及拡大を図り、事業効率を高めるとともに経営基盤を強化しつつ、料金・サービスの拡充および保安レベルの維持・向上を図る。
- ② エネルギー市場の自由化などの環境変化を好機ととらえ、持続的に発展していく企業グループをめざす。
 - ・自由化に向けた適切な準備・対応を図りつつ、事業環境の変化を活かした新たな事業展開を検討・実施する。

(2)② 中期経営計画 ガス需給計画



(百万m³)



(2)③ 地域密着型ショールームの整備



(2)④ 需要開発の状況



【日新製鋼(株)呉製鉄所 様】 HPから引用



【酒造会社 様 (東広島市)】



【集合住宅 (91戸、東広島市) の燃料転換】



(2)⑤ 中期経営計画 設備投資計画



(億円)

	2015 年度 (実績)	2016 年度	2017 年度	2018 年度	3年間合計 (2016～2018年度)
製造設備	28	8	4	2	16
供給設備	53	55	48	63	167
業務設備等	12	16	17	7	40
合計	94	80	70	73	224

(端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります)

減価償却費(2016～2018年度累計) : 約203億円

3. 2016年度 業績見通し



(単位:百万円)

	2015年度 (実績)	2016年度 (見込み)	差異
売上高	76,303	75,000	▲1,303
営業利益	5,475	4,500	▲975
経常利益	5,775	4,900	▲875
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,647	5,900	2,252
ROE(%)	9.4	13.9	4.5
原油価格 JCC(\$/bbl)	49	42.5 (上期:40、下期:45)	▲6.5
為替レート(円/\$)	120	115	▲5

3. (参考) 経常利益分析

2016年度 業績見通し



経常利益 ▲875百万円 の減益

(5,775百万円 ⇒ 4,900百万円)

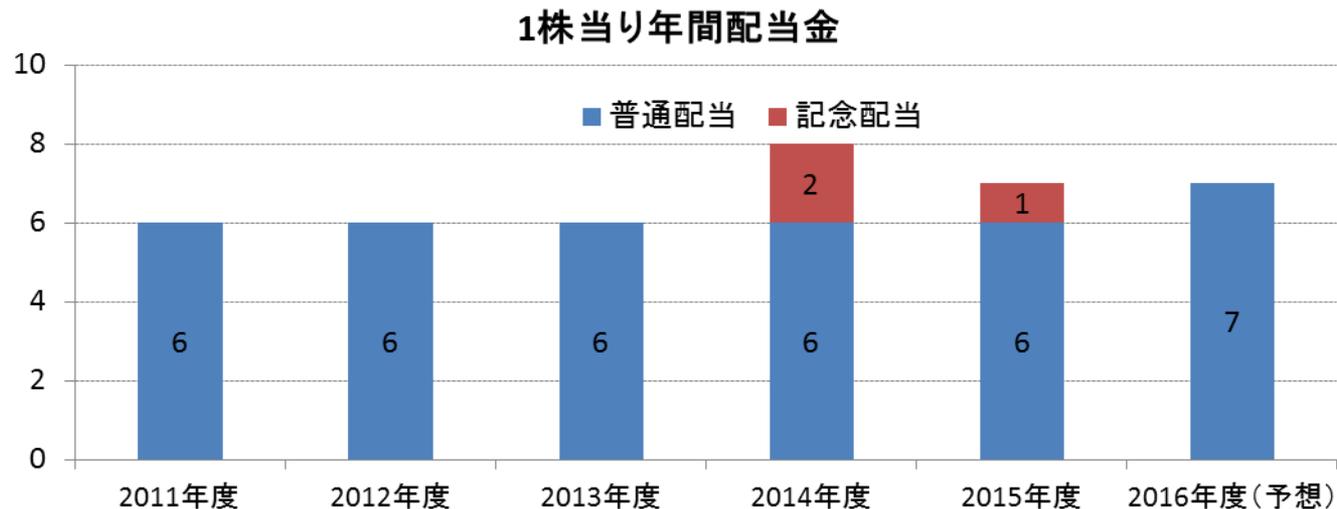
「+」「△」は利益に対する影響額を示す

1. ガス事業 数量差	+1,200百万円
(内訳)・小口 +800百万円 ・その他 +400百万円	
2. スライド差	▲1,800百万円
・スライドタイムラグ (2015)2,600百万円 (2016)800百万円	
3. LPG事業の減益	▲100百万円
4. その他	▲150百万円
・ガス料金改定影響	▲200百万円
・減価償却 +50百万円	(廿日市工場棧橋関連 ▲300百万円)
	既存設備等 +350百万円

4. 株主還元方針



徹底した経営効率化を進め、積極的な営業活動を展開し、**安定配当の継続**を基本方針とする



※2014年度は、東証一部指定を記念、2015年度は、天然ガス供給開始20周年を記念して、記念配当を実施

◎株主優待制度

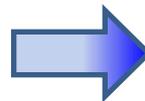
①目的: 株主様からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を**長期に保有**していただける魅力あるものとする。

②内容:

保有株式数	株主優待品
500株以上2,000株未満	図書カード(1,000円相当)
2,000株以上	商品カタログ (5,000円相当の広島県特産品等)

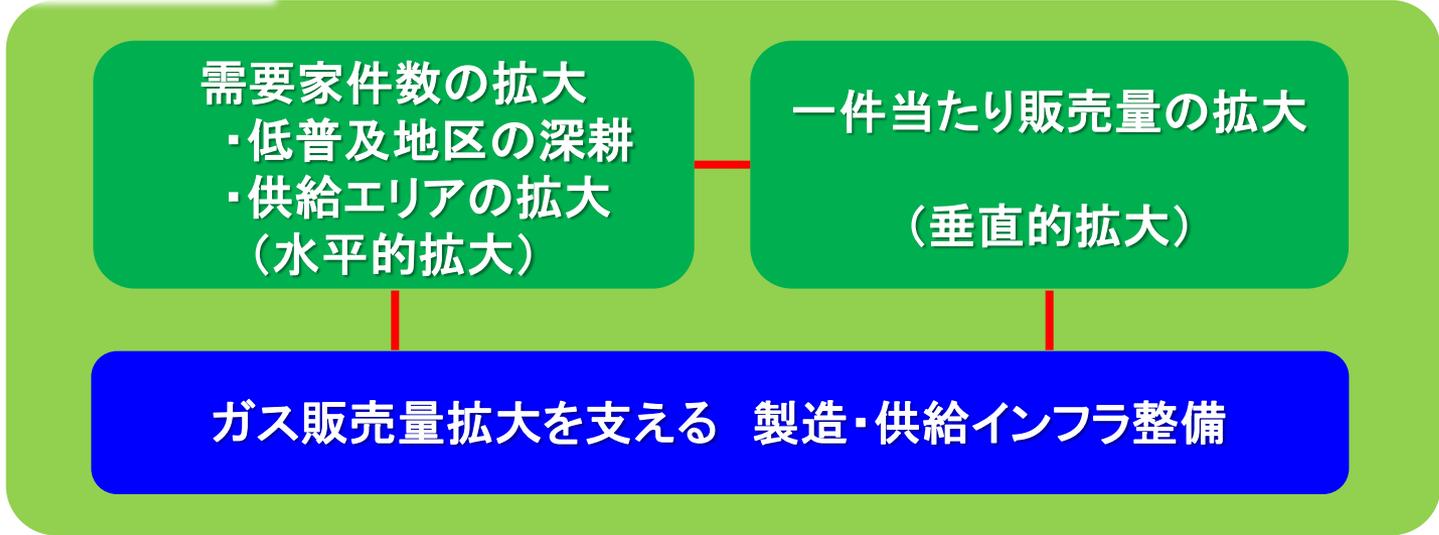
5. 成長戦略

持続的な発展に向けた取り組み
～ガス・電力市場の自由化は成長の好機～



ガス販売量拡大と
新たな収益源創出

○ガス事業



○電力事業



- 廿日市工場コージェネレーション(規模:11千kW、2004年9月～)
- 大規模太陽光発電事業(規模:0.7千kW、2013年10月～)
- バイオマス混焼発電所 (規模:11.2万kW、事業可能性検討中)



(1)① 販売量の拡大(水平的拡大)



東広島市への供給エリア拡大(6市4町体制)

● 広島ガスの供給エリアと体制

供給エリア(広島県内6市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま件数
40万9千件

広島地区
お客さま件数 34万3千件



廿日市工場

呉地区
お客さま件数 4万8千件



呉支店



本社

可部事業所



東広島製造所

東広島地区
お客さま件数 500件

海田基地
技術研究所

熊野事業所

呉支店

東広島製造所



備後工場

備後工場

広島県

三原営業所



尾道支店

尾道・三原地区
お客さま件数 1万8千件



連結子会社である
瀬戸内パイプライン
㈱の設備を活用した
卸供給

福山ガス㈱



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン(株))



水島LNG基地
(水島エールエヌジー(株))

岡山県

水島LNG基地
水島ステーション

凡例	
供給エリア(広島地区)	ガスホルダー
供給エリア(呉地区)	ガス製造所
供給エリア(尾道・三原地区)	本社・支店
供給エリア(東広島地区)	検討中幹線
幹線(広島ガス)	幹線(瀬戸内パイプライン)

未開発地域／市場の開発、供給エリアの面的拡大⇒ガス販売量の拡大

東広島市: 広島県の中央(広島市の東)に位置する広島市のベッドタウン

広島大学や広島空港が所在。

(1)② 販売量の拡大(垂直的拡大)



【工業用・業務用】

東日本大震災後の分散型電源、省エネ機器に対するニーズの高まり

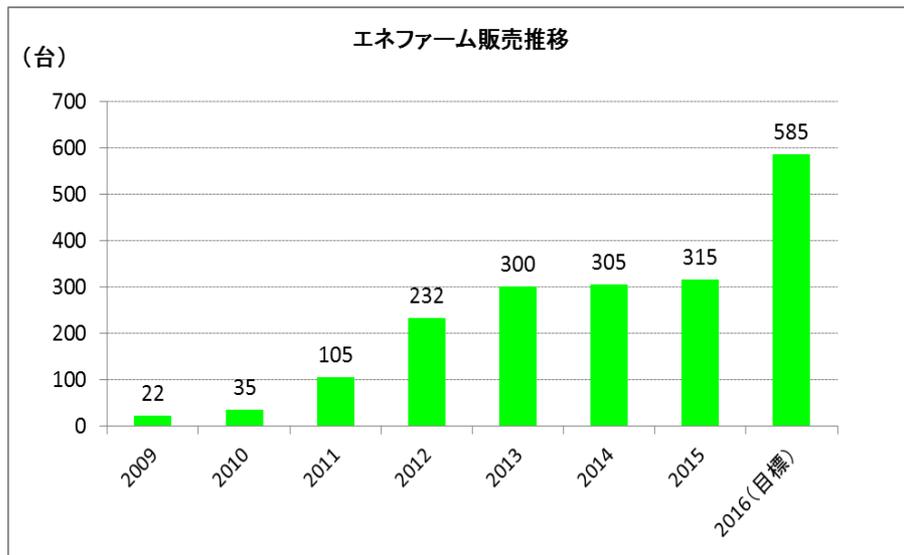
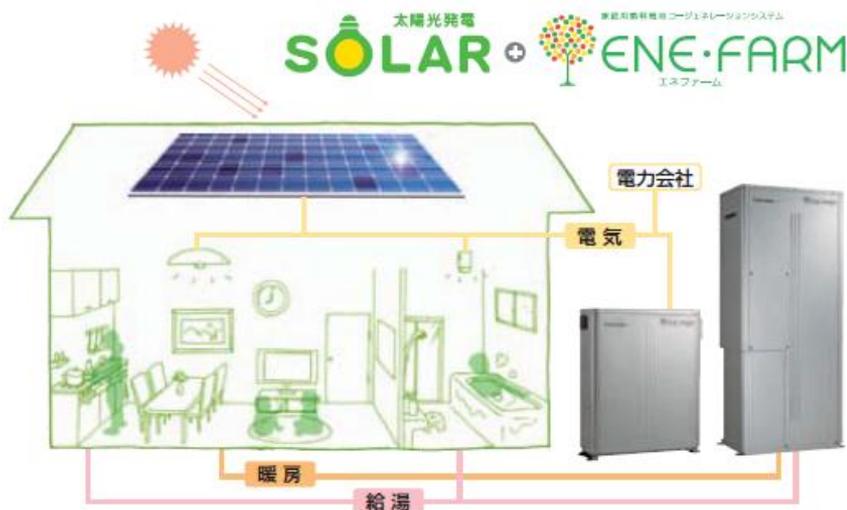
⇒ **ガスコージェネレーション**(エンジン/タービン、燃料電池)、**ガス空調**の販売拡大の好機

【家庭用】

エコジョーズ、床暖房等重点戦略機器の拡販

エネファーム(家庭用燃料電池)の販売拡大 ⇒ 2016年度**販売目標:585台**

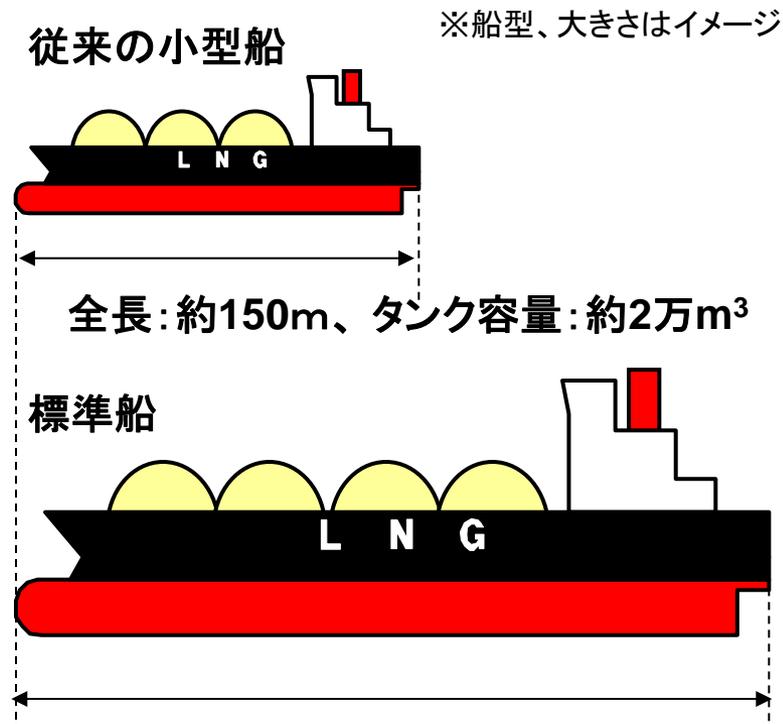
- 太陽光発電との**ダブル発電**
- マンション向けの**受注獲得**



(2)① インフラ整備：製造設備／廿日市工場棧橋機能拡大(i)



廿日市工場 標準船入港



【ねらい】

小型LNG 船と併用して標準LNG船の受入体制を整えることで、将来の需要増大に対応

- ① LNG の安定的な受入体制の強化
- ② 廿日市工場の有効利用・稼働率向上
- ③ 輸送コスト低減⇒競争力あるガス価格実現

- ・ 全長：約300m
- ・ タンク容量：約 17万7千m³
(従来諸元の約 2x2x2=8倍)

(2)② インフラ整備：製造設備／廿日市工場棧橋機能拡大(ii)



工事前



水深：8.5m

工事後



水深：12m

(2)③ ソフト面のインフラ整備:LNG売買契約



平成28年以降の原料契約

	マレーシア	サハリン	大阪ガス
締結	H27年9月	H17年5月	H26年7月
契約期間	H28年4月 ～H38年3月	H20年4月 ～H40年3月	H28年1月 ～H43年3月
契約数量	約10万トン/年	最大 21万トン/年	5～13万トン/年 (年度によって変更)
受形渡態	本船渡し (FOB)	本船渡し (FOB)	着棧渡し (Ex-Ship) 標準船使用

標準船と小型船を併用 効率的な輸送を実現
年間約40万トンの契約

(2)④ インフラ整備：供給設備／導管網の増強(i)



高圧幹線の延伸(広島湾岸幹線)



【目的】

廿日市工場棧橋機能拡大に際し、同工場の最大限活用に向けた基幹インフラを整備することにより、天然ガスの普及拡大、供給安定性の向上を図る



(3) エネルギー自由化への対応／新規事業の検討



海田バイオマス混焼発電所の事業可能性の検討について

【発電所概要】

発電出力	11.2 万kW（発電端）
使用燃料	バイオマス、石炭、 天然ガス（助燃・バックアップ用）
建設用地	約3.7万㎡（敷地総面積 約15万㎡中）



建設後のイメージ図

【目的】

- 地域のガス事業者と電気事業者による共同事業
⇒ エネルギーの安定供給に寄与
- 港湾施設・工業用水等の当社既存インフラや電力事業者の発電ノウハウを活用
- バイオマス混焼 ⇒ 再生可能エネルギーの普及拡大に寄与

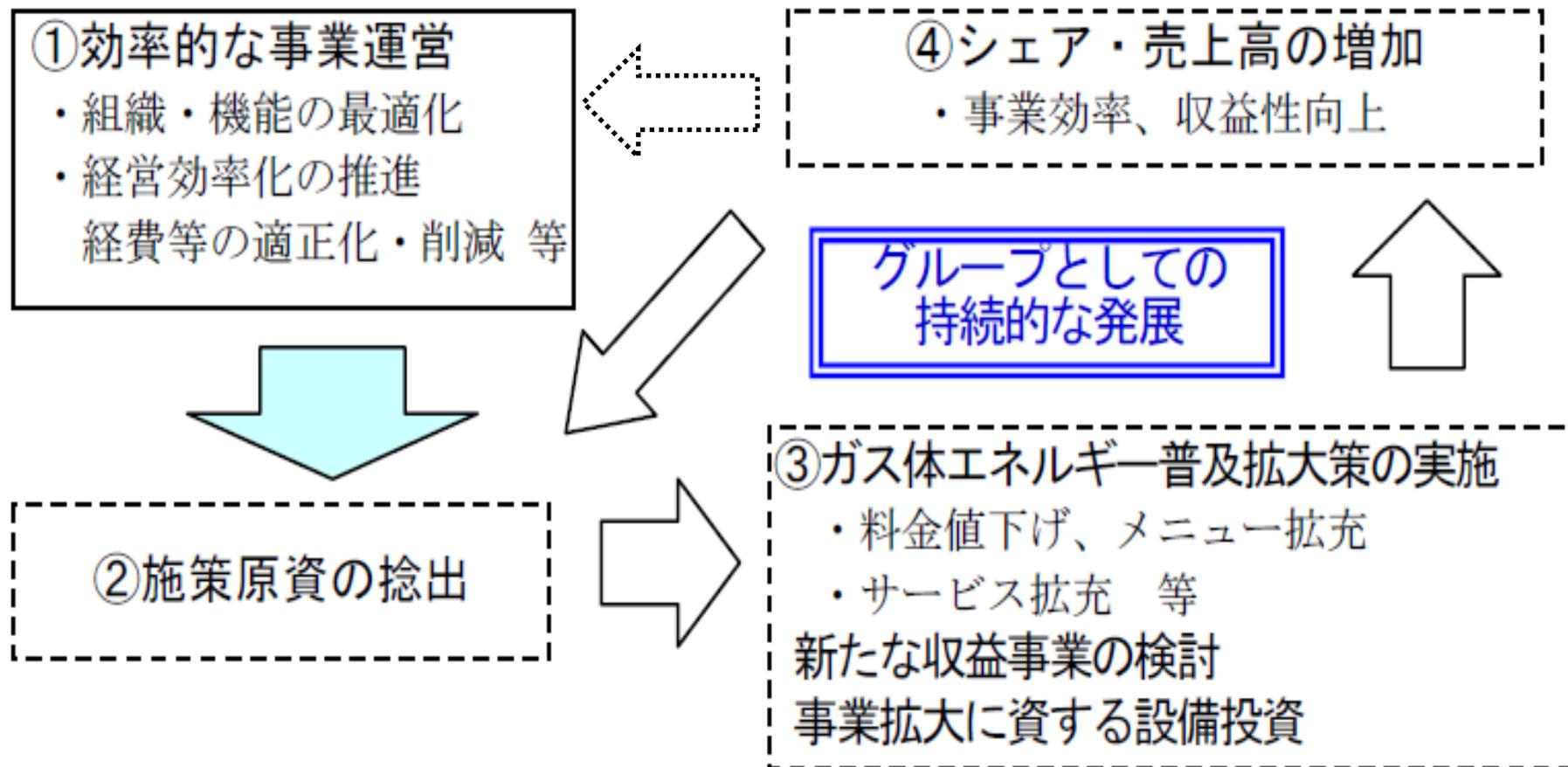
【主な課題と対応】

- 実施中の環境アセスメントを2016年内に完遂させ、2016年度のFIT価格（バイオマス：24円/kWh）を認定取得
- カーボンニュートラルな燃料であるバイオマスの調達検討（種類・価格・契約期間・調達量 など）
- 採算性向上へ向けた土木・建築・プラント建設費の低減および売電スキームの検討
- 以上を踏まえた事業採算性検証

(4)① ビジョン・中期経営計画に係る対応の方向



めざす方向性：広島ガスグループの持続的な発展



(4)② 組織変更(概要)



平成28年4月1日実施

目的：

- ①ガスシステム改革対応に向けた機能移管
(エネルギー事業部⇒導管事業部)
- ②エネルギーシェアの維持・拡大、保安等の重点施策の強化
- ③環境変化へ対応するための意思決定の迅速化

現行	変更後
<ul style="list-style-type: none">・ 2事業部 : エネルギー事業部 導管事業部・ 1本部 : 経営統括本部	<ul style="list-style-type: none">・ 3事業部 : 生産事業部※(新設) エネルギー事業部 導管事業部・ 経営統括本部を廃止 (管理系：フラットな組織)・ 一部、部門の統合／簡素化・ 原則として、「室」の廃止

ご清聴 ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

広島ガス株式会社

(ご参考) 会社概要



- 資本金：51億8千1百万円
- お客さま件数：40.8万件
- 広島県内の6市4町に都市ガス进行供給
- 広島県東部地区にて福山ガス等に卸供給を実施
- 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定(2015年3月9日)
(証券コード：9535)
- 2014年度健康経営銘柄に選定



◎ 広島ガスの供給エリアと体制

供給エリア(広島県内6市4町) お客さま件数 40万9千件
 広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町



日新製鋼

(ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2005	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015
売上高	69,151	70,452	77,906	82,965	70,524	73,311	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303
営業利益	1,227	1,421	1,286	2,287	3,067	3,782	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475
経常利益	1,494	1,739	1,685	2,860	3,106	3,959	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775
当期純利益(※1)	500	844	605	-1,907	2,083	2,606	91	1,835	1,969	2,746	3,647
減価償却費	7,190	7,051	7,780	7,553	7,724	7,463	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091
営業キャッシュフロー(※2)	7,690	7,895	8,385	5,646	9,807	10,069	7,312	8,284	9,253	9,671	10,738
設備投資額	10,071	7,724	5,675	6,098	4,106	3,864	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851
フリーキャッシュフロー(※3)	-2,381	171	2,710	-452	5,701	6,205	1,855	1,057	-3,004	4	887
総資産	118,539	112,771	111,443	99,623	93,754	88,841	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357
自己資本(資本)	29,005	35,857	33,563	26,530	28,560	30,471	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961
有利子負債	53,758	50,683	54,381	50,768	44,366	38,726	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350
ROA(%) (※4)	0.4	0.7	0.5	-1.8	2.2	2.9	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6
ROE(%) (※4)	1.7	2.6	1.7	-6.3	7.6	8.8	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4
自己資本比率(%)	24.5	31.8	30.1	26.6	30.5	34.3	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0
EPS(円)	7.3	14.5	10.2	-32.4	35.3	43.9	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7
BPS(円)	505.2	604.3	571.0	449.8	482.1	512.9	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1
D/E レシオ	1.9	1.4	1.6	1.9	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9

※1 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

(ご参考) 販売量データ



		FY2005	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015
家庭用	販売量(百万m3)	112	112	109	106	106	108	107	105	103	103	100
	対前年比(%)	2.8	0	-2.7	-2.8	0	1.9	-0.9	-1.9	-1.9	0	-2.9
商業用	販売量(百万m3)	62	61	62	57	51	51	49	48	47	45	43
	対前年比(%)	5.1	-1.6	1.6	-8.1	-10.5	0	-3.9	-2.0	-2.1	-4.3	-4.4
工業用	販売量(百万m3)	215	248	271	243	269	275	273	262	258	242	242
	対前年比(%)	20.8	15.3	9.3	-10.3	10.7	2.2	-0.7	-4.0	-1.5	-6.2	0.0
その他用	販売量(百万m3)	37	37	38	35	34	39	37	37	38	37	36
	対前年比(%)	5.7	0	2.7	-7.9	-2.9	14.7	-5.1	0	2.7	-2.6	-2.7
卸供給	販売量(百万m3)	-	3	31	46	51	54	55	60	61	62	60
	対前年比(%)	-	-	-	48.4	10.9	5.9	1.9	9.1	1.7	1.6	-3.2
合計	販売量(百万m3)	427	463	513	488	512	529	524	513	509	491	483
	対前年比(%)	11.8	8.4	10.8	-4.9	4.9	3.3	-0.9	-2.1	-0.8	-3.5	-1.6